

平成23年行政事業レビューシート

(国土交通省)

事業名	マラッカ・シンガポール海峡航行安全対策		担当部局	海事局		作成責任者		
事業開始・終了(予定)年度	H20~		担当課室	外航課		課長 平田 徹郎		
会計区分	一般会計		施策名	海上物流基盤の強化等総合的な物流体系整備の推進、みなとの振興、安定的な国際海上輸送の確保を推進する				
根拠法令 (具体的な条項も記載)	-		関係する計画、通知等	-				
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	マラッカ・シンガポール海峡において航路を閉塞する大規模海難の発生件数をゼロとする。 マラッカ・シンガポール海峡は、我が国の輸入原油の約8割が通過することから、我が国経済・国民生活にとって極めて重要な海峡である。最大の海峡利用国である我が国としては、国連海洋法条約に基づき、海峡沿岸国と利用国の協力のあり方を具体化した「協力メカニズム」の下、海峡沿岸国提案の支援要請プロジェクトを推進し、同海峡の安全確保等に貢献することを目的とする							
事業概要 (5行程度以内。別添可)	マラッカ・シンガポール海峡を安全に航行するために同海峡に設置されている灯台等航行援助施設のうち、滅失や破損等により正常機能を喪失しているため早急な整備が必要なものを対象とする現地調査を行い、当該施設の修繕や代替工事に要する費用額の積算、代替施設の構造設計等を行う。							
実施方法	直接実施	業務委託等	補助	貸付	その他			
予算額・執行額 (単位:百万円)		20年度	21年度	22年度	23年度	24年度要求		
	予算の状況	当初予算	25	47	34	37		
		補正予算	0	0	0	0		
		繰越し等	0	0	0	0		
		計	25	47	34	37		
	執行額	16	39	19				
執行率(%)	64%	83%	56%					
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標			単位	20年度	21年度	22年度	目標値 (年度)
	マラッカ・シンガポール海峡において航路を閉塞する大規模海難の発生件数		成果実績	件	0	0	0	
			達成度	%	100%	100%	100%	
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標			単位	20年度	21年度	22年度	23年度活動見込
	整備事前調査を行った航行援助施設数		活動実績 (当初見込み)	基	1	3	2	() ()
			算出根拠	単位当たりコスト = 18,917千円(平成22年度執行額) / 2件(整備事前調査を行った航行援助施設数)				
単位当たりコスト	9,459 (千円/基)							
平成23・24年度予算内訳	費目	23年度当初予算	24年度要求	主な増減理由				
	職員旅費	1	1					
	総合的物流体系整備推進調査費	36	36					
	計	37	37					

事業所管部局による点検			
	評価	項目	特記事項
目的・予算の状況		広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	
		国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業ではないか。	
		不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ、費目・用途		支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	
		単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
		資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
		費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績、成果実績	-	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	
		適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
		活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	-	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。	
		整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果	<p>多くの大型船舶が頻繁に航行するマラッカ・シンガポール海峡における航行援助施設の機能の喪失は、大規模な海難に発展する可能性があることを踏まえ、同施設が適時適切に修繕や代替されることは非常に重要であり、我が国の技術・経験を活用した本事業への海峡沿岸国のニーズは引き続き高い。</p> <p>【前回の指摘を踏まえた執行上の改善点】 平成22年度事前調査実施においては、比較的距離が近い航行援助施設2基を1回の調査で併せて行うなど、効率的な事業実施を図った。また、海峡沿岸国による自立的な同海峡の航行安全確保体制の確立や活動に資する人材育成を図りたいとの沿岸国のニーズを取り入れ、23年度は航行援助施設維持管理に関するキャパシティ・ビルディングを行うこととした。</p>		
予算監視・効率化チームの所見			
一部改善		事業内容等を精査し効率的な事業実施を図るとともに、沿岸国のニーズを考慮したより効果的な事業を行うべき。	
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
事業内容を精査し効率的な事業実施を図るとともに、沿岸国のニーズを考慮し、平成23年度より開始したキャパシティビルディング事業を引き続き実施する。			
補記 (過去に事業仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載)			

国土交通省

19百万円

事業の企画・立案、
進捗管理・指導

旅費
1百万円

物品、消耗
品購入費
4百万円

【一般競争入札】

A. (株)セアプラス

14百万円

マラッカ・シンガポ
ール海峡に設置されて
いる航行援助施設(2
か所)の代替のため
の事前調査

資金の流れ
(資金の受け
取り先が何を
行っているか
について補足
する)(単
位:百万円)

A.株セアプラス			E.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
事業費	調査機材費等	7			
人件費	業務担当者人件費等	6			
その他	印刷費等	1			
計		14	計		0
B.			F.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
C.			G.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0

費目・使途
 (「資金の流れ」
 においてブロックごとに最大の
 金額が支出されている者について
 記載する。費目と使途の双方
 で実情が分かる
 ように記載)

支出先上位10者リスト

A.(株)セアプラス

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(株)セアプラス	対象航行援助施設について現地調査、代替施設の構造設計などの実施	14	1	96.1
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					